

(1) 1級水系流域治水プロジェクトに基づく 各種対策のフォローアップについて

※各構成員にて今年度実施いただいた取り組み内容及び次年度以降の取り組み内容の御報告と各種対策の代表事例をご紹介します。

豊平川外地域部会

- 札幌開発建設部
- 札幌市、石狩市、当別町
- 札幌管区気象台
- 石狩森林管理署
- 北海道水源林整備事務所
- 石狩振興局
- 空知総合振興局

札幌開発建設部

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

実施主体：
札幌河川事務所

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	洪水氾濫から流域を守る治水対策、土砂災害から地域を守る土砂災害防止対策	

令和7年度 取組内容

R7年度においては、過年度から継続的に実施していた豊平川・厚別川の河道掘削、簾舞川の御料堰堤改良を継続実施し「流域治水」の推進を図った。

豊平川雁来築堤掘削



厚別川河道掘削



簾舞川御料堰堤改良



引き続きR7年度の取組を継続実施

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

実施主体：
札幌河川事務所

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組
対策内容	重要水防箇所合同巡視（札幌市・石狩市・当別町）の実施	

令和7年度 取組内容

有事における水防活動を円滑に実施するため、札幌河川事務所と各自治体の出水担当部署職員が、認識の共有を図りつつ、重点的に巡視・点検が必要な箇所の合同巡視を実施した。

札幌市



石狩市



当別町



引き続きR7年度の取組を継続実施

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	川の安全利用学習会の実施	

実施主体：
札幌河川事務所

令和7年度 取組内容

豊平川・創成川において、管内の児童(小学4年生)を対象に「川の安全利用学習会」を実施し、川の危険箇所の確認のほか、川の歴史や水質、水辺の生物調査に関する体験を通じて、身近な川に対する理解と知識を深めることに寄与した。

豊平川左岸 幌平橋付近



創成川 北二番橋付近



引き続きR7年度の取組を継続実施

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

実施主体：
札幌河川事務所

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	地域防災力向上の連携強化の取り組み	

令和7年度 取組内容

大規模土砂災害の発生に備え、関係機関間における行動表や情報共有方法等について意見交換を行い、連携体制の強化を図った。また、札幌市総合防災訓練会場にて砂防事業の重要性や土砂災害の危険性に対する理解促進を目的として、パネル展示及び職員による説明を実施した。

大規模土砂災害連携会議



札幌市総合防災訓練（パネル展示ブース）



引き続きR7年度の取組を継続実施

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	農業用ダムの活用（貯水位運用）	

実施主体：札建農業
(豊平川地域部会)

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、農業用ダムの貯水位運用(貯水位低下)を行い、洪水時の貯留機能の役割を發揮し、「流域治水」の推進を図った。

実施前

青山ダム



【貯水位運用前】
6月上旬の状況

実施後

青山ダム



【貯水位運用】
8月1日から8月31日 EL=141.39m以下に貯水位低下

次年度に向けて引き続き、農業用ダムの貯水位運用を図る。

札幌市、石狩市、当別町

実施主体：札幌市

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川や流域貯留施設等の整備
対策内容	河川・流域貯留施設等の整備	

■令和7年度 取組内容

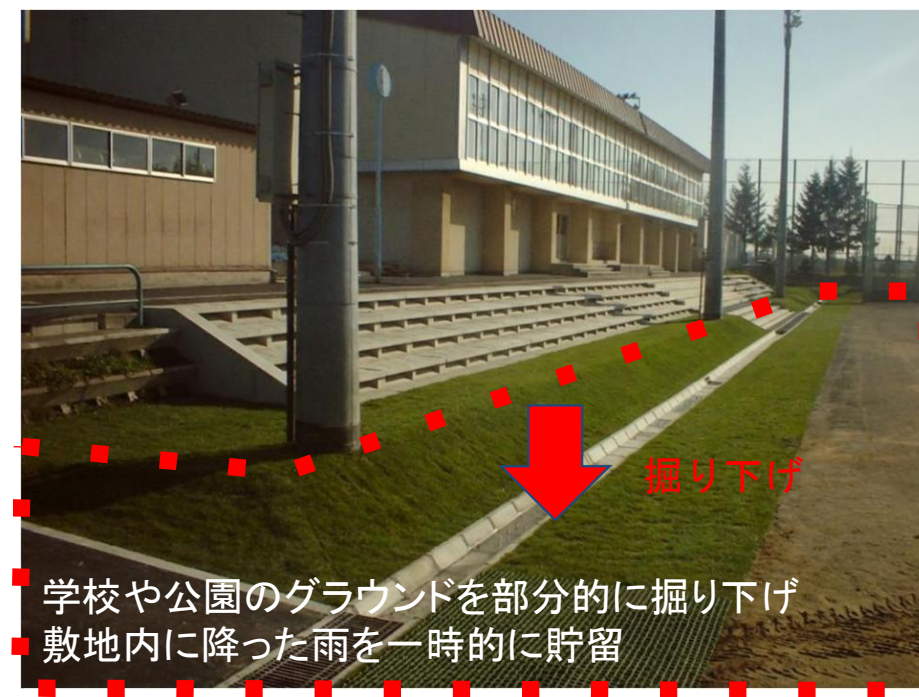
- ・R7年度においては、厚別西川など5河川の整備や伏籠川流域内4箇所流域貯留施設の整備を実施。

実施前

《流域貯留施設》※平岸高台小学校の事例



実施後



学校や公園のグラウンドを部分的に掘り下げ
敷地内に降った雨を一時的に貯留

次年度に向けた予定 など

- ・引き続き、河川改修や流域貯留施設の整備などを実施する。

実施主体：札幌市

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	市民等を対象とした防災教育の実施、防災意識の啓発
対策内容	小中学校への防災教育用教材の配布	

■令和7年度 取組内容

・児童生徒の防災意識を啓発し、災害に直面したときに適切に行動する能力を身に付けさせることを目的に電子版の教育教材を作成。市内小中学校教員向け特設サイトにて公開。

実施内容

・発達段階に応じて、小学校1～3年、4～6年、中学生の3種類作成を作成。関連する科目や学級活動など、授業の目的や時間に応じてパワーポイントの教材を教員が自由にカスタマイズして活用することができるものとしている。
※教職員用の指導の手引きも併せて作成。

・社会科副読本「わたしたちのたちの札幌」のうち、防災に係る項目の編集を支援。



次年度の予定

・教育現場で活用してもらえるよう引き続き周知する。

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	住民の水防意識啓発のため、S56洪水等の広報の充実
対策内容	出前講座等による普及啓発	

実施主体：札幌市

- 令和7年度 取組内容
- ・防災普及啓発として、防災DVDの貸出や出前講座の実施

実施内容

- ・札幌市広報誌やコミュニティFMラジオ、SNS、出前講座等を通じて、避難行動の理解促進に努めた。

次年度の予定

- ・引き続き各種広報やSNS等を通じて幅広い世代に向けた情報発信を行う。

実施主体：札幌市

	流域治水プロジェクト2.0	(概ね5年で実施する取組について)
対策区分	被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	市民等を対象とした防災教育の実施、防災意識の啓発
対策内容	住民参加による防災訓練の実施	

■令和7年度 取組内容

- ・地域住民が参加し、避難所の開設・運営訓練を実施

実施内容



次年度の予定

- ・引き続き住民参加型の防災訓練の実施

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	要配慮者利用施設における避難確保計画作成・訓練の実施
対策内容	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成に向けた支援	

実施主体：札幌市

■令和7年度 取組内容

・要配慮者利用施設（高齢者関連施設、障害者関連施設、児童関連施設、学校関連施設、医療関連施設）における避難確保計画の作成支援会を継続して実施。

実施内容

要配慮者利用施設の計画の作成状況（R7.12月時点）

ア) 対象施設数 2,945箇所

（うち 学校関連施設 203箇所）

イ) 計画作成済みである対象施設数 1,930箇所

（うち 学校関連施設 182箇所）

札幌市内の対象施設における作成率は66%となっており、令和7年度は作成支援会等を通じて200箇所以上の施設が避難確保計画を作成。



次年度の予定

・要配慮者利用施設の新規開設、移転等の情報抽出及び、引き続き各対象施設への計画作成に係る支援会を実施し 計画の作成を促していく。

【石狩市】流域治水プロジェクト2.0に基づく対策の概要について

実施主体：石狩市

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	
対策内容	市管理河川等の浚渫及び雑木伐採等による維持管理、雨水管の整備、流出抑制施設の機能維持（開発事業に伴う雨水貯留地の機能維持）	

■令和7年度 取組内容

- 令和7年度においては、古潭川の浚渫及び雑木伐採等による維持管理、雨水管の整備、流出抑制施設の機能維持を実施し「流域治水」の推進を図った。

実施前



実施後



市管理河川の浚渫

■次年度に向けた予定

- 市管理河川等の浚渫や雑木伐採等の維持管理及び雨水管の整備により、氾濫を防ぐ・減らす対策を実施

【石狩市】減災対策における取組状況等について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備
対策内容	災害・防災情報の新たな情報発信手段の整備	

実施主体：石狩市

■令和7年度 取組内容

- 令和7年3月より石狩市行政情報ポータル「いしぽ」および石狩市緊急情報電話配信サービスの運用開始、新たな災害情報の伝達手段を構築。



警報等の災害情報を自動プッシュ通知

洪水キキクルや川の防災情報へ簡単アクセス

石狩市緊急情報 電話配信サービス

石狩市緊急情報電話配信サービスとは？

災害発生時に石狩市が発信する緊急情報等を自宅の固定電話やFAXで受け取ることができるサービスです。携帯電話やスマートフォンなどをお持ちでない方は、ぜひご利用ください。

※スマートフォンをお持ちの方は
石狩市行政情報ポータル「いしぽ」をご利用ください。
(詳しくは「広報いしぽ」4月号P.6をご覧ください。)

アプリのダウンロードはこちら

Androidから

iPhoneから

迅速・正確な情報を提供する

気象情報

利用者

石狩市緊急情報
電話配信サービス

固定電話・FAX

対象者
原則として、石狩市内在住でスマートフォンやタブレット等をお持ちでない方

発信内容
国が発信する国民保護情報のほか、気象情報の発表、避難情報や避難所開設に関する情報、災害時における緊急情報など
(電話を受けると、自動音声で情報が流れます。)

費用
登録料や通信料はかからず、無料でご利用いただけます。

<お問合せ>
〒061-3292
石狩市石川町5-11T1E30番地2
石狩市総務部危機管理課
電話：0133-72-3190 FAX：0133-75-2275
Mail：kiki@city.shikari.hokkaido.jp

登録方法については裏面へ→

スマホを持っていない方へは、固定電話、FAXで災害情報を通知

- 市民の迅速な避難行動を促すため、利用者視点に立った理解しやすい災害・防災情報の提供及びサービスの向上に取り組む。
- 今後もイベントや防災訓練、講習会で周知を継続し、理解促進に努める。

【石狩市】減災対策における取組状況等について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	ハザードマップの周知・活用	

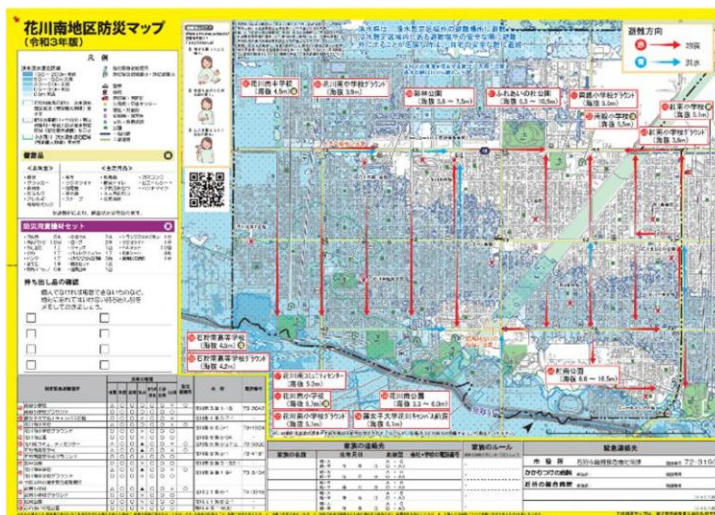
実施主体：石狩市

令和7年度 取組内容

- 平成30年5月、令和4年3月に石狩市地区防災ガイドおよび防災マップ(ハザードマップ)の改定を実施。新規転入者、各種訓練、講習会で配布を実施。



石狩市地区防災ガイド



花川南地区防災マップ
(ハザードマップ)



花川南小・中学校 一日防災学校の様子
⇒防災ガイド・マップを活用した授業を実施

- 令和4年6月公表の石狩川水系材木川の洪水浸水想定区域および避難所の新たな指定を反映し、令和7年度内での改定作業を実施。
- 今後も新規転入者、各種訓練、講習会で配布を実施。

【石狩市】減災対策における取組状況等について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	防災教育・訓練の実施、防災意識の啓発	

実施主体：石狩市

■令和7年度 取組内容

- ・【防災教育】令和7年10,11月に一日防災学校を実施。
⇒児童生徒の災害時の「生きる力」を育む取組として学校が主体となり、防災まちづくり協会、防災マスターなどの協力のもと、平成30年度から毎年実施。
⇒市内小中学校、小1～中3まで延べ約1,200名の児童生徒が参加。
- ・【防災訓練】令和7年12月に避難所運営訓練を実施。
⇒町内会・自治会の役員を含めた市民に対して、避難所運営や備蓄資機材の説明、中小河川における浸水想定区域の周知を実施。



花川南小・中学校 一日防災学校の様子
⇒中学校1年生を対象とした水害タイムラインの実施
⇒段ボールベッドの組立を指導する防災マスター

避難所運営訓練の様子
⇒備蓄資機材の説明、座学形式での説明

- ・防災教育・訓練の充実を図るため、防災DXや映像教材を活用した実践的・視覚的な体験を通じて知識の定着を図る。
- ・次年度も、一日防災学校および避難所運営訓練の実施を予定。

【石狩市】減災対策における取組状況等について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	防災教育・訓練の実施、防災意識の啓発	

実施主体：石狩市

■令和7年度 取組内容

【防災意識の啓発】(防災イベントの開催)

- ・ 石狩市防災パネル展の開催
⇒石狩市役所本庁舎（1F）で豪雨災害をテーマに令和7年9月9日～9月12日まで実施。
⇒当時の記憶や教訓、被害の甚大さを忘れず、大災害に備えるため、市民への防災意識の啓発を図る。
- ・ 石狩防災フェスタ2025の開催（5回目の開催）
⇒令和7年8月3日（日）石狩市役所本庁舎敷地内で昨年に引き続きの実施
⇒来場者数約3,500人の防災イベント。防災まちづくり協会、防災マスター、関係機関などの協力のもとイベントを通じ市民へ防災意識の向上・啓発活動を展開。



石狩市防災パネル展の様子
⇒被害写真の掲載や防災備蓄品を展示



石狩防災フェスタの様子
⇒防災DXを活用したAR浸水体験の実施
⇒開発局の協力による降雨体験装置



- ・ 令和8年3月に市民図書館エントランスで地震、津波、風水害等の様々な自然災害をテーマに防災パネル展第2回を開催予定。
- ・ 令和8年度では、訓練の更なる充実及び関係機関の参加拡大を図り、開催予定。

【石狩市】減災対策における取組状況等について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	要配慮者利用施設の自衛水防の推進に関する取組	

実施主体：石狩市

■令和7年度 取組内容

- ・ 要配慮者利用施設の避難確保計画作成
 - ⇒各種社会福祉施設や保育・医療施設、学校などの防災上の配慮を要する方が利用する施設で、市では84施設を対象として、施設ごとの避難確保計画を順次策定。
 - ⇒今年度、新規対象となった施設に対して作成の依頼を通知及び個別の説明や作成のフォローを石狩市防災まちづくりの協力のもと実施。
 - ⇒令和7年9月末で、84施設について計画策定完了。（進捗率 100%）

- ・ 今後も新規対象施設に対して個別の説明や作成のフォローを継続。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	小学4年生・中学1年生を対象とした防災教育を実施	

実施主体：当別町

令和7年度 取組内容

- ・ 能登半島地震による町職員派遣時の状況を説明
- ・ 当別町防災マップを使用し、自宅及び周辺の災害リスクを確認
- ・ 避難所の指定箇所と場所の確認

実施内容



避難所設営訓練（段ボールベッド作成）

次年度も実施予定

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	町民・町職員を対象とした防災教育を実施	

実施主体：当別町

令和7年度 取組内容

- ・ 講師を招き、講演及びワークショップを実施
- ・ 当別町防災マップを使用方法的再確認
- ・ 災害が起きたときの、初期行動の確認

実施内容



次年度も実施予定

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	町民を対象とした体験型避難所体験	

実施主体：当別町

令和7年度 取組内容

- 北海道医療大学と連携を行い、同大学講師による「災害時の常備薬・口腔ケア等」について講習を実施
- 避難所体験：非常食の試食・段ボールベッド作成・災害救援車（動く薬局）の見学

実施内容



避難所設営訓練（段ボールベッド作成）

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

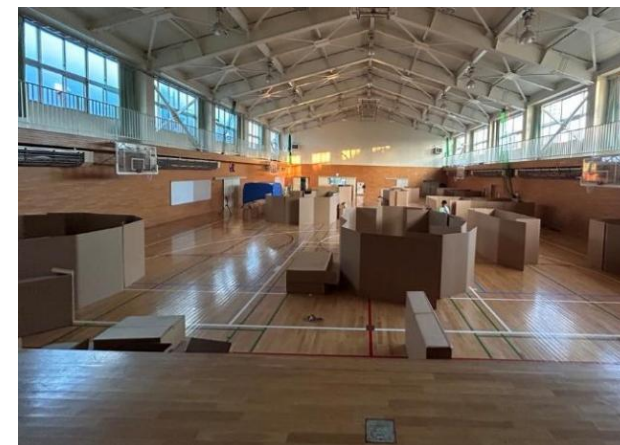
	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	小学1年生から中学3年生とその親子が対象	

実施主体：当別町

令和7年度 取組内容

- ・ 小学校の体育館を避難所と想定し、1泊2日の避難所体験
- ・ 放水体験・火起こし・高齢者クラブへの訪問・炊き出し訓練等を実施

実施内容



避難所設営訓練（段ボールベッド作成）

次年度も実施予定

札幌管区气象台

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	市民等を対象とした防災教育の実施、防災意識の啓発	

実施主体：
札幌管区气象台
(豊平川外地域部会)

■令和7年度 取組内容

①平時における地域防災支援

防災講座や防災訓練での講演や自治体との懇談をとした防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動、防災訓練での気象シナリオ作成協力

- ・石狩振興局及び関係する全3市町（石狩市・当別町・札幌市）と、個別の懇談を実施した。
- ・札幌市が実施した災害対策本部設置訓練におけるシナリオの作成に協力した。

②災害発生時、または発生が見込まれる場合の地域防災支援

- ・大雨時に、警報・注意報など、適時的確な防災気象情報の発信を行った。
- ・電話による自治体等からの問合せに対して、のべ144回の気象説明を実施した（12/31現在）。

札幌管区气象台の地域防災支援の取り組み

平時



担当チーム（あなたの町の予報官）が市町村と緊密な連携関係を構築

- ・講演やワークショップによる防災担当者や住民への啓発
- ・地域防災計画修正や防災訓練への協力



非常時

- ・ホットラインでの気象解説による市町村等の防災対応への助言
- ・市町村等へのJETT派遣での気象説明等による現地対応への協力



後日



- ・関係機関と災害時等の対応を振り返り、平時・非常時の業務へフィードバック

■次年度に向けた予定

①平時における地域防災支援

- ・令和8年出水期からの新たな防災気象情報について、防災関係機関、流域市町防災担当者や住民へ周知・啓発を行う。
- ・これまでの講話や訓練における防災展示等の取組に加え、流域市町防災担当者や住民を対象としたワークショップの実施等、「我が事感をもった」実践的な防災啓発をととして、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動を一層推し進める。

②災害発生時、または発生が見込まれる場合の地域防災支援

- ・これまでの取組に加え、市町村等へのJETT（気象庁防災対応支援チーム）の迅速な派遣や、ホットラインでの詳細な気象解説による防災対応への助言。
- ・事後に関係機関と実施する「振り返り」による防災対応の取組の更なる改善。

石狩森林管理署

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	森林整備事業(間伐、植栽等)の実施	

実施主体：
北海道森林管理局
石狩森林管理署
(豊平川地域部会)

■令和7年度 取組内容

- 林野庁においては、山地災害や洪水被害が激甚化している中、これまでも、国土交通省と連携した流木対策や、氾濫河川上流域を対象とした森林整備・治山対策に取り組んでいるところ。
- 令和7年度においても、森林の有する土砂流出防止機能や水源涵養機能等の適切な発揮に向けた森林整備(間伐、植栽等)を実施した。



植栽の実施状況



間伐の実施状況

森林整備状況(石狩森林管理署)

次年度に向けた予定 など
・治山施設等の点検・整備
・植栽・間伐等の森林整備

東北北海道整備局
北海道水源林整備事務所

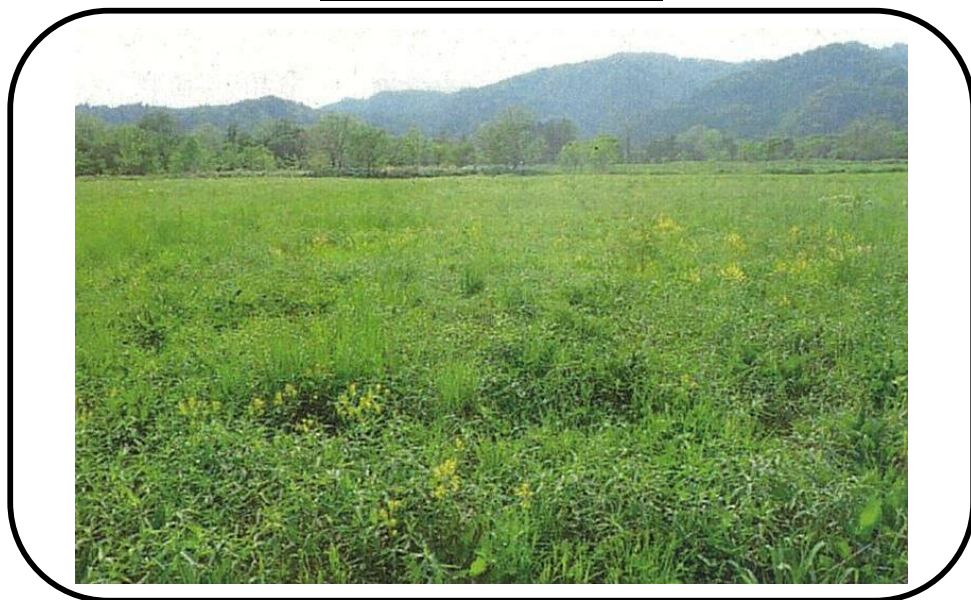
「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	森林の水源涵養機能維持・向上のための森林整備	

実施主体：
森林整備センター
(豊平川外地域部会)

- 令和7年度 取組内容
- ・流域治水に資する下刈等の森林整備を実施。

植栽実施前



植栽実施後



次年度以降も下刈等の森林整備を計画的に実施

石狩振興局 産業振興部
・整備課

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	農業農村整備事業の実施、水田の貯留機能向上	

実施主体：
石狩振興局整備課
(豊平川外部会)

令和7年度 取組内容

- 農業農村整備事業により排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理などを石狩市と当別町で実施

• 農業水利施設の活用

農業用排水路の施工




水田貯留機能向上

水田の大区画化



整地



畦畔築立



令和8年度も引き続き、農業農村整備事業による排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理などを推進

石狩振興局 産業振興部
・林務課

空知総合振興局
・森林室

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制のための森林整備	

実施主体：
石狩振興局林務課
(豊平川外地域部会)

■令和7年度 取組内容

- 札幌市、石狩市、当別町において、治山事業及び森林整備事業により間伐、植栽等を実施したことで、山地保水力強化による「流域治水」の推進を図った。

実施前



高齢林となることで防災機能が低下し、土砂災害や倒木のリスクが増加

実施後



伐採・植栽を行うことで、段階的に諸災害に強い針広混交複層林に誘導する

次年度に向けた予定

- 森林の荒廃状況等による優先度に基づき、治山事業を着実に推進するほか、森林整備事業を計画的に実施する。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：
空知総合振興局森林室
(豊平川外地域部会)

- 令和7年度 取組内容
- ・空知団地育林事業を当別町にて実施



溪間工(治山ダム等)の実施状況



植栽の実施状況



山腹工(法枠工等)の実施状況



間伐の実施状況

- 次年度に向けた予定 など
- ・森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に治山事業を実施
- ・森林整備事業(間伐、植栽等)の計画的な実施

空知総合振興局
札幌建設管理部

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

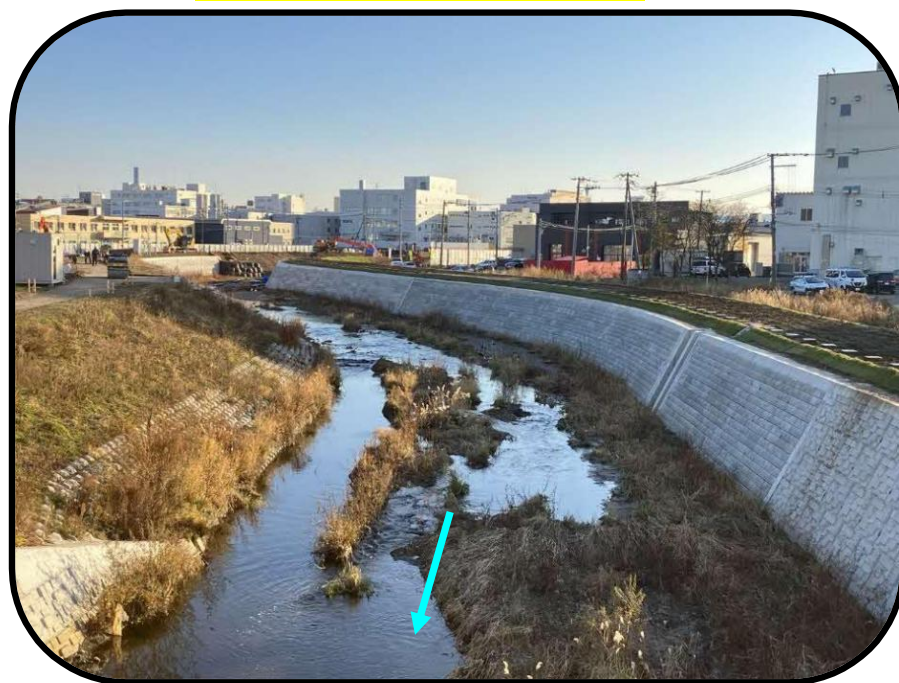
	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	堤防整備、河道掘削及び河道内伐木を実施	

実施主体：
札幌建設管理部
(豊平川外地域部
会)

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、継続実施していた月寒川、望月寒川の河道掘削を実施し「流域治水」の推進を図った。

月寒川(実施後)



望月寒川(実施後)



次年度に向けた予定 など

次年度以降も引き続き、継続実施している月寒川等の河道掘削、砂防関係施設の調査設計等を実施する。

(2) 2級水系流域治水プロジェクトのフォローアップ及び 新規プロジェクト(案)について

※現プロジェクトにて今年度実施いただいた取り組み内容及び来年度以降の取り組みの御報告と各種対策の代表事例についてご紹介させていただきます。

(取組状況整理表)

		R7年度取り組み内容	住民(地域の防災リーダー等)参加状況	次年度以降の取り組み(予定)	住民(地域の防災リーダー等)参加状況
札幌市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	<p><新川></p> <ul style="list-style-type: none"> ・流出抑制施設の設置 継続実施 (開発事業に伴う雨水貯留池等及び市民、企業による雨水浸透ますや雨水貯留槽等) ・窪地など雨水が集まりやすい場所への対策 継続実施 ・樋門等の操作、点検など ・雨水拡充管の整備 新規着手 		<p><新川></p> <ul style="list-style-type: none"> ・流出抑制施設の設置 継続実施 (開発事業に伴う雨水貯留池等及び市民、企業による雨水浸透ますや雨水貯留槽等) ・窪地など雨水が集まりやすい場所への対策 継続実施 ・樋門等の操作、点検など ・雨水拡充管の整備の継続 	
	被害対象を減少させるための対策	<p><新川></p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地利用・住まい方の工夫 継続実施 (災害危険区域と出水のおそれのある区域の指定) 		<p><新川></p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地利用・住まい方の工夫 継続実施 (災害危険区域と出水のおそれのある区域の指定) 	
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	<p><新川></p> <ul style="list-style-type: none"> ・浸水(内水・洪水)ハザードマップの周知 継続実施 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成促進 継続実施 ・避難行動の理解促進 継続実施 	<p><新川></p> <ul style="list-style-type: none"> 住民参加による防災訓練の実施 	<p><新川></p> <ul style="list-style-type: none"> ・浸水(内水・洪水)ハザードマップの周知 継続実施 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成促進 継続実施 ・避難行動の理解促進 継続実施 	

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

■令和7年度 取組内容（新川水系）

- ・ 雨水流出抑制施設の設置を継続実施。
- ・ 雨水拡充管の整備を新規着手。
- ・ 札幌市浸水ハザードマップによる洪水・内水氾濫浸水想定区域等の周知を継続実施。
- ・ 住民参加による防災訓練を実施。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

- ・ 1,000m²以上の開発行為に対して、**雨水流出抑制施設の設置を義務付けている。**
- ・ 公共下水道に雨水を排除している大規模施設に対して**雨水流出抑制の取組をお願いしている。**



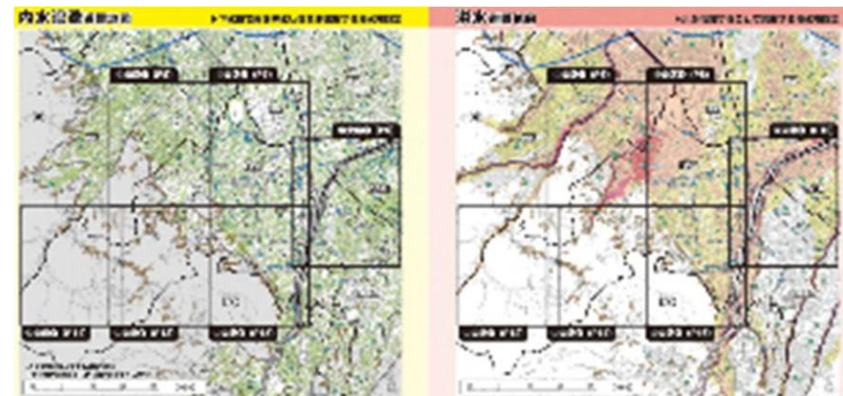
雨水流出抑制をお願いする対象施設

- ①公共下水道に雨水を排除する施設
- ②3,000m²以上の土地に設置する施設
- ③土地の半分以上が屋根や舗装に覆われる施設

市民・企業の皆様への雨水流出抑制のお願い

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・ 令和4年度に**札幌市浸水ハザードマップ**（洪水・内水氾濫）を全戸配布し、地域からの要望に応じた**出前講座等により周知を行っている。**



札幌市浸水ハザードマップ

次年度に向けた予定

- ・ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策として、流出抑制施設の設置や窪地など雨水が集まりやすい場所への対策、雨水拡充管の整備を継続実施。
- ・ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策の周知や理解促進を継続実施。

(取組状況整理表)

		R7年度取り組み内容	住民(地域の防災リーダー等)参加状況	次年度以降の取り組み(予定)	住民(地域の防災リーダー等)参加状況
石狩市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	<p><新川></p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道雨水管の整備 ・流出抑制施設の機能維持継続 (開発事業に伴い設置した雨水調整池) <p><望来川・厚田川・旧知津狩川・正利冠川・濃屋川・浜益川・群別川・幌川></p> <ul style="list-style-type: none"> ・植栽・間伐材等の森林整備 		<p><新川></p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道雨水管の整備 ・流出抑制施設の機能維持継続 (開発事業に伴い設置した雨水調整池) <p><望来川・厚田川・旧知津狩川・正利冠川・濃屋川・浜益川・群別川・幌川></p> <ul style="list-style-type: none"> ・植栽・間伐材等の森林整備 	
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	<p><新川・望来川・厚田川・旧知津狩川・正利冠川・濃屋川・浜益川・群別川・幌川></p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難体制の強化 ⇒小中学校における防災授業の実施 ⇒要配慮者利用施設の避難確保計画作成とフォロー ⇒避難所運営訓練の実施 町内会・自主防災組織等市民に対する、避難所運営及び備蓄資機材の説明 ・中小河川における浸水想定区域の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・石狩市防災まちづくり協会理事との意見交換 	<p><新川・望来川・厚田川・旧知津狩川・正利冠川・濃屋川・浜益川・群別川・幌川></p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難体制の強化 ⇒小中学校における防災授業の実施 ⇒要配慮者利用施設の避難確保計画作成とフォロー ⇒避難所運営訓練の実施 町内会・自主防災組織等市民に対する、避難所運営及び備蓄資機材の説明 ・中小河川における浸水想定区域の周知 	

【二級河川】流域治水プロジェクトに基づく 各種対策の概要について

石狩市

■令和7年度 取組内容 『被害対象を減少させるための対策』 新川:〈避難体制の強化〉

【石狩防災フェスタの開催】（令和7年8月実施）

⇒来場者数約**3,500**人の防災イベント。防災まちづくり協会、防災マスター、**関係機関**などの協力のもとイベントと通じ市民へ防災意識の向上・啓発活動を展開。

【一日防災学校の実施】（令和7年10,11月実施）

⇒児童生徒の災害時の「生きる力」を育む取組として学校が主体となり、防災まちづくり協会、防災マスターなどの協力のもと、平成30年度から毎年実施。

⇒**市内小中学校、小1～中3まで延べ約1,200名の児童生徒が参加。**



石狩防災フェスタの様子
→来場者に対してAR浸水体験を実施



花川南小・中学校一日防災学校の様子
→中学校1年生を対象とした「水害タイムライン」の実施

【要配慮者利用施設の避難確保計画作成】

⇒各種社会福祉施設や学校、医療施設などの防災上の配慮を要する方が利用する施設で、市では**84**施設（うち新川**52**施設、**正利冠川5**施設、**浜益川3**施設）を対象として、施設ごとの避難確保計画を**順次策定**。

⇒令和7年12月末現在で、**84**施設について計画策定完了（進捗率 100%）

(取組状況整理表)

		R7年度取り組み内容	次年度以降の取り組み(予定)
石狩森林 管理署	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	<新川・望来川・厚田川・正利冠川・濃昼川・浜益川・群別川・幌川> ・治山施設等の点検・整備 ・植栽・間伐等の森林整備	<新川・望来川・厚田川・正利冠川・濃昼川・浜益川・群別川・幌川> ・治山施設等の点検・整備 ・植栽・下刈等の森林整備
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

■令和7年度 取組内容

- 林野庁においては、山地災害や洪水被害が激甚化している中、これまでも、国土交通省と連携した流木対策や、氾濫河川上流域を対象とした森林整備・治山対策に取り組んでいるところ。
- 令和7年度においても、森林の有する土砂流出防止機能や水源涵養機能等の適切な発揮に向けた森林整備（下刈、植栽等）を実施した。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策



植栽の実施状況



下刈の実施状況

森林整備状況(石狩森林管理署)

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ (地域住民参加状況含む)

(取組状況整理表)

		R7年度取り組み内容	次年度以降の取り組み(予定)
石狩 振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	<p>【林務課】</p> <p><新川・望来川・厚田川・旧知津狩川・正利冠川・濃昼川・浜益川・群別川・幌川></p> <ul style="list-style-type: none">・治山施設等の点検診断(石狩市)を実施・小学校地先小規模治山工事(石狩市)を実施・小谷ほか保育工事(石狩市)を実施・植栽・間伐等の森林整備事業(石狩市)を実施	<p>【林務課】</p> <p><新川・望来川・厚田川・旧知津狩川・正利冠川・濃昼川・浜益川・群別川・幌川></p> <ul style="list-style-type: none">・治山施設等の点検・整備継続実施・植栽・間伐等の森林整備継続実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

■令和7年度 取組内容

- ・治山対策について、旧知津狩川・正利冠川・濃昼川・群別川の治山施設点検、厚田川の小規模治山事業、旧知津狩川、浜益川の保育事業を実施し「流域治水」の推進を図った。
- ・新川、望来川、厚田川において、森林整備（植栽・下刈等）を実施し「流域治水」の推進を図った。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策



山腹工（張工等）の実施状況
（小学校地先・石狩市）



森林整備（植栽）の実施状況
（石狩市）

- ・治山対策・森林整備の継続事業の早期完了を目指し、計画的に事業を実施。また森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に事業を実施。
- ・各市等において、植栽・間伐等の森林整備を計画的に実施。

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ (地域住民参加状況含む)

(取組状況整理表)

		R7年度取り組み内容	次年度以降の取り組み(予定)
石狩 振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【整備課】 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;">R7および次年度以降の予定はありません</div>	【整備課】
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ (地域住民参加状況含む)

(取組状況整理表)

		R7年度取り組み内容	次年度以降の取り組み(予定)
空知総合振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【建設管理部】 ・新川の排水機場等の整備更新等の継続実施 ・厚田川の伐木・河道掘削等の継続実施 ・正利冠川の伐木の実施 ・浜益川の伐木の継続実施 ・吉岡沢川の伐木の継続実施 ・砂防関係施設の調査設計等 ・河道内堆積土砂掘削や伐木の継続実施	【建設管理部】 ・新川の排水機場等の整備更新等の継続実施 ・望来川の伐木・河道掘削等の実施 ・厚田川の伐木・河道掘削等の継続実施 ・浜益川の伐木の継続実施 ・吉岡沢川の伐木の継続実施 ・砂防関係施設の調査設計等 ・河道内堆積土砂掘削や伐木の継続実施(実施箇所未定)
	被害対象を減少させるための対策	【建設管理部】 <新川・望来川・厚田川・旧知津狩川・正利冠川・濃昼川・浜益川・群別川・幌川> ・洪水および土砂災害のリスクに係る情報の提供を継続実施	【建設管理部】 <新川・望来川・厚田川・旧知津狩川・正利冠川・濃昼川・浜益川・群別川・幌川> ・洪水および土砂災害のリスクに係る情報の提供を継続実施
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	【建設管理部】 <新川> ・防災資機材等の備蓄 ・水害対応タイムラインの継続運用 <新川・望来川・厚田川・浜益川> ・水位計・簡易カメラによる河川情報の提供 <新川・望来川・厚田川・旧知津狩川・正利冠川・濃昼川・浜益川・群別川・幌川> ・高潮浸水シミュレーション(想定最大規模)の公表	【建設管理部】 <新川> ・防災資機材等の備蓄 ・水害対応タイムラインの継続運用 <新川・望来川・厚田川・浜益川> ・水位計・簡易カメラによる河川情報の提供 <新川・望来川・厚田川・旧知津狩川・正利冠川・濃昼川・浜益川・群別川・幌川> ・高潮浸水シミュレーション(想定最大規模)の公表

■令和7年度 取組内容

- ・ 継続実施していた新川の排水機場の部分更新、厚田川の掘削等による河川整備、砂防関係施設等の調査設計、新川水系に防災資材(ブロック)を備蓄、浜益川の河道内堆積土砂掘削や伐木を行い、「流域治水」の推進を図った。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策



厚田川(掘削工)



浜益川(伐木工)

新川、望来川、厚田川の河川整備と新川にブロック備蓄を継続実施予定。
琴似発寒川の調査設計を継続実施予定。